

第七回新型インフルエンザ研究会定例会議事録

1. 概要

- (1)開催日時:2011年2月17日(木) 16:00~18:30
- (2)場所:BCAO 東京オペレーション事務所

2. 出席者(順不同)

- 縄稚様(富士通エフサス)、落合様(東京工業大学)
- 小松様(帝国ホテル)、森山様(SMC)、伊澤様(シーエステイ)
- 駒村(富士通エフ・アイ・ピー)〈記〉

3. 配布資料

・下記を参考資料として活用

- ①「BCAO 新型インフルエンザ研究会活動報告」添付資料:想定シナリオ
- ② 想定企業のプロフィール(企業概要、組織体制、事業継続戦略、要員スキル表など。2/9作成版) ※今回配布
- ③ 対策本部の課題表 ※本年度作成

4. 本日のテーマ

- (1)訓練方法、シナリオについて(重要業務継続のための要員確保の対策訓練)
- (2)図書購入について(研究会に参考になる図書の選定)

5. 訓練シナリオについて

① 作成方針

- ・ 4. ①資料の想定シナリオから抜粋(国内発生段階~)
- ・ 訓練時間は1.5h程度(+0.5h反省会)とし、インシデント数を4~5個とする
※1インシデントの所要時間は20分程度

② 想定企業のプロフィールについて(追加、変更)

- ・ 横浜工場、大阪工場は同製品製造⇒別製品 A、Bを製造に変更
- ・ 横浜工場製品 A(緊急時も100%製造)
- ・ 大阪工場製品 B(緊急時は製造を50%に縮小)
- ・ 派遣社員も要員に組み入れ、全員常勤とする

③ 状況設定

- ・ 想定企業は新型インフルエンザ基本行動計画を旧年中に作成済み
※感染予防、感染者／濃厚接触者の自宅待機、罹患者情報の収集 等)
- ・ 羽田/成田から持ち込まれたウィルスにより、横浜工場で罹患者が発生する
- ・ 横浜工場の稼働率(100%)を維持するため、大阪から要員を移動することを想定
- ・ 対策本部は横浜工場に設置する

④ シナリオに盛り込む要素

- ・ 在宅勤務の励行
 - パターン1:罹患者(初期)の発生段階
 - パターン2:家族からの感染者発生段階
- ・ 大阪工場から横浜工場への要員移動(罹患者率によって2段階に分ける)
- ・ 多能工(マルチスキル)への対応 ※スキル／資格保持者の欠勤率○%で想定
- ・ 外部委託(物流業者／設備／資材)への対応
- ・ 派遣社員の欠勤対応
- ・

⑤ 他の研究会からの参加について

- ・ 当研究会メンバー以外の視点も有効なので、他の研究会にも参加依頼をしてみる

6. 購入図書について

研究会に参考になる図書として下記を購入する

- (1) 労災時報別冊 企業と社員を守る新型インフルエンザ対策
中野明安 第一法規 1,800 円(税抜き)
- (2) 企業のための新型インフルエンザ対策マニュアル
和田耕治 東洋経済 2,000 円(税抜き)
- (3) 事業継続マネジメント BCM 訓練デザインマニュアル
T.K ギリス NTT 出版 2,200 円(税抜き)

7. 次回(訓練)予定

- ① 開催日時:2011年3月24日(木) 16:00~18:00
- ② 場所 所在地:東京都中央区日本橋本町4-3-4 東海日本橋ビル 7階
会場名:BCAO 東京オペレーション事務所